

NEW ダイコンドラ エメラルドフォールズ

- エメラルドフォールズは、シルバーフォールズとはやや異なるグリーンリーフと丸葉が特徴の *D.repens* 種
- シルバーよりも葉の密着度が多く、ピンチや矮化剤なしでもバランスよく草姿が期待できる
- シルバーと同様、耐暑性があり、また分枝の勢いが早く、枝どうし絡まらずにコンテナの表面全体を覆う
- エメラルドフォールズは寄せ植えやハンギング用に最適な品種。シルバーに比べて横幅があり、枝の伸びは逆に短い(最長で約 90cm)
- 標準発芽率 85%の種子を提供

学名: *D. repens*

種子粒数の目安: 214 粒/グラム

プラグ生産ステージ

培地

水はけがよく、新しく衛生的な培地を用いる。培地の pH は 5.5 から 6.2、EC は 0.75mmhos/cm(1:2)を維持する

温度

発芽適温:	22 から 24°C
子葉展開後:	18 から 22°C
本葉展開後:	18 から 21°C
本葉以後:	16 から 18°C

光条件(照度)

発芽時: 不要

発芽後: 10,000 から 30,000 ルクス(1,000 から 2,500 f.c.)

育苗期: 温度条件が適正であれば、54,000 ルクス(5,000f.c.)まで可能

湿度

子葉展開までは相対湿度を 95%に維持する。種子をパーミキュライトで覆土する

培地の水分

幼根が現れるまでは培地の水分レベルを高く維持し、幼根が張り出すにしたがって徐々に下げる。培地を乾燥気味に維持した方がプラグの生育は早い。その際に、苗を枯らせないように注意する

肥料

幼根が現れてから 15-0-15 の肥料を 50 から 75ppm(N)の濃度で与え、子葉の生長にしたがって 100 から 150 ppm(N)まで上げていく

矮化処理剤(PGR)

矮化剤は不要

鉢上げから出荷まで

培地(用土)

水はけがよく、新しく衛生的な培地を用いる。培地の pH は 5.5 から 6.2、初期の養分は中庸とする

温度

昼間: 18 から 24°C

夜間: 16 から 18°C

照度(光条件)

適正な温度条件の中にある限り、できるだけ高い光条件を維持する

かん水

高温乾燥の条件で管理する。培地は常に乾燥気味に保つが、苗を枯らせないように注意する。また、低温や日照が弱い条件下では過湿は必ず避ける

肥料

週に 1 回程度、各栄養素を含んだ汎用タイプの肥料を 300ppm(N)の濃度で与える。基本的にあまり多量の肥料は必要としない。肥料過多の場合、葉焼けを生じることがあるので注意する

矮化処理剤 (PGR)

矮化剤は不要である

ピンチ

ピンチは不要である

平均的な生産期間

播種から鉢上げ(288 穴トレイ): 6 から 7 週

鉢上げから出荷 (10cm ポット): 8 から 9 週

ポットサイズ	定植本数	移植から 出荷までの週数
10 から 11cm ポット	1	7 から 8 週間
15 から 18cm ポット	3	7 から 8 週間
30cm 程度のコンテナ またはハンギングバスケット	3	8 から 9 週間
	4	8 から 9 週間
	5	7 から 8 週間

病例等

虫害: とくに重大な事例は報告されていない

病気: とくに重大な事例は報告されていない

注意点:

- 同品種を生産するにあたって、ここで示されている栽培情報は基本的な参考資料としてお使いください。生産物は、気候条件や地理的な緯・経度、また作型の時期、ハウスの環境によって結果が異なることがあります
- 殺虫・殺菌剤、また矮化剤の使用についての記載はあくまでもガイドラインであり、必ず使用方法を十分にまた正しく読み、使用者の自らの責任のもとでそれに沿った正しい使用方法とるようにしましょう

注意点: EC 値(電気伝導度)は、ピート主体の北米の用土を算出の基準としているので、土を用いた配合では適合し得ない場合があります。